

令和4(2022)年度
事業報告書・財務諸表

公益社団法人 教育・ヘルスケア振興節英会

令和4(2022)年度 事業報告書

I. 総括

当法人は、令和3年7月1日に一般社団法人として設立し、設立者今村節子の「病気になるのを防ぐのが看護の仕事であり、保健・公衆衛生の役割も見据えた看護のあり方を探求し、看護教育の向上に向けた取り組みを支援したい」という想いを、奨学金事業として実現してきた。

令和4年3月30日に鹿児島県より公益社団法人として認定され、令和4年4月1日、『公益社団法人教育・ヘルスケア振興節英会』に名称変更した。

令和4年度は、令和3年度から続く奨学金事業に加え、研究助成事業を開始し、人材育成支援を通して地域医療・福祉の向上に貢献した。

II. 事業の概況

令和4年度は、看護専門学校に在学する者で大学とのダブルスクールにより学位取得を目指す者37名(令和3年度採用の継続奨学生27名、令和4年度採用奨学生10名)と、看護師の資格取得のための進級支援金を必要とする者9名、合計46名の看護専門学校生への奨学金の給付を行った。

また、令和4年度より研究助成事業を開始し、公衆衛生学的に調査研究をする研究研究者2名、共同活動者2名、合計4名に研究助成金の給付を行った。

III. 法人の概況

1. 設立年月日

令和3(2021)年7月1日

2. 法人名称変更

令和4年3月30日に鹿児島県より公益社団法人として認定され、令和4年4月1日から『公益社団法人教育・ヘルスケア振興節英会』に名称変更した。

3. 定款に定める目的

医療福祉職を目指す者又は現役の医療福祉職のキャリア開発支援及び地域医療と保健活動に関する事業を行い、地域医療・福祉の向上に寄与することを目的とする。

4. 定款に定める事業内容

- (1)医療福祉職を目指す者又は現役の医療福祉職のキャリア形成の促進
- (2)医療及び公衆衛生学に関する研究開発の普及
- (3)地域医療における在宅医療の推進

- (4)地域住民の健康管理促進と地域の活性化及び地域共生社会の実現
- (5)その他この法人の目的を達成するために必要な事業

5. 所管官庁に関する事項

鹿児島県くらし保健福祉部医師・看護人材課

6. 主たる事務所(従たる事務所)

主たる事務所:鹿児島市鴨池1丁目64番6号

従たる事務所:鹿児島市鴨池新町6番4号

7. 許認可等に関する事項

(指定)

- ・ 指定居宅サービス事業者及び指定介護予防サービス事業者の指定 (令和5年1月27日)
訪問看護ステーション「節愛」

(仮指定)

- ・ 令和4年度地域密着型サービス事業者指定(看護小規模多機能型居宅介護事業)の仮指定
(令和4年10月31日)
看護小規模多機能型居宅介護事業所「節愛」

(補助金等交付決定)

- ・ 令和4年度鹿児島市社会福祉施設建設費等補助金の交付決定(令和5年2月8日)
地域密着型サービス等整備等助成事業 看護小規模多機能型居宅介護事業所「節愛」

IV. 事業の状況

1. 事業の実施状況

(1) 奨学金事業 令和4年度実績

趣 旨	本奨学金を受給する学生が、看護職として必要な知識及び技術を習得するため、あるいは豊かな人間性を兼ね備えたさらなる上位の看護専門職として知識技術を身に付けるために奨学を受けることにより、鹿児島県のみならず、日本、世界の人々に貢献できる医療専門職となれることを期待し、看護のさらなる発展に貢献する人材の育成に寄与することを目的とする。
応募要件	以下の1)2)のいずれかを満たし、かつ3)を満たす者 1) 看護専門学校に在学する者で大学とのダブルスクールにより学位取得を目指す者 2) 看護師の資格取得のための進級支援金を希望する者 3) 学習意欲があり、経済的理由で進学を断念しており、経済的支援を必要とする者

募集期間	令和4年1月14日(金)～2月15日(火)10時迄
令和4年度 応募数	21名 ダブルスクール12名・進級支援者9名
令和4年度 採用者	19名 ダブルスクール10名・進級支援者9名
継続 奨学生	27名 ダブルスクール27名
奨学生 総数	46名 ダブルスクール37名・進級支援者9名
給付額	総給付額 5,360,000円

(2) 研究助成事業 令和4年度実績

趣旨	鹿児島県の医療福祉職に従事する者が、業務改善による働き方改革や医療福祉の質向上を目的にした研究活動、あるいは医療福祉専門学校(大学・大学院を含む)の医療福祉職を目指す者が、地域状況について公衆衛生学的に調査研究活動を行う際の支援事業である。研究の成果が、鹿児島県のみならず、日本、世界の人々に波及することを期待し、医療福祉のさらなる発展に寄与することを目的とする。
応募要件	以下の1)2)3)のいずれかを満たす鹿児島県に在住する者 1) 現役の看護職で、業務改善及び看護の質向上を目的に研究活動を行う者 2) 現役の診療支援を担う医療福祉職で、業務改善及び医療福祉の質向上を目的に研究活動を行う者 3) 現役の医療福祉職または、医療福祉専門学校(大学・大学院含む)で医療福祉専門職を目指す者で、地域の状況を公衆衛生学的に調査する者で下記の ア)又はイ)の者 ア)本会の研究テーマの共同研究者 イ)公衆衛生学的調査研究を進める者
募集期間	令和4年6月1日(水)～7月31日(日)10時迄
応募数	4名 1)2)応募者なし、3)ア)共同研究者2名、3)イ)共同活動者2名
採用者	4名 3)ア)共同研究者2名、3)イ)共同活動者2名
給付額	総給付額 140,000円

2. 公益目的事業変更認定に関する報告

令和 5 年 3 月 28 日付け指令医看第 403 号認定書を鹿児島県知事より交付され、公益目的事業として 2 つの事業の追加が認定された。

【1】医療福祉職を目指す者又は現役の医療福祉職のキャリア形成の促進(既存)

A) 奨学金給付事業

【2】医療及び公衆衛生学に関する研究開発の普及(既存)

A) 研究助成事業

【3】地域医療における在宅医療の推進(追加)

A) 看護小規模多機能型居宅介護事業

B) 訪問看護ステーション事業

【4】地域住民の健康管理促進と地域の活性化及び地域共生社会の実現(追加)

A) 町の保健室

B) 健康リハビリ室

C) 図書館

D) 学童保育室・預かり保育室

E) 学習室・研究室の提供

F) 地域の子供や大人の地域食堂

G) 障害のある子(者)を地域住民と共に受け入れる体制

※【3】B)は、令和 5 年 4 月 1 日から訪問看護ステーション節愛として事業を開始した。

※【3】A)と【4】A)～G)は、今村節子氏より寄附を受けた鴨池一丁目64番6号の土地に、地域交流複合施設+看護小規模多機能型居宅介護事業所「かもいけみらいの森」を建設し、令和 6 年度より事業を実施する予定である。

3. 事業報告の附属明細書

令和 4 年度事業報告には、法人法施行規則第 34 条第 3 項に規定する「事業の報告の内容を補足する重要な事項」がないため、附属明細書は作成していない。

貸借対照表

令和 5年 3月 31日 現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,474,085	71,000	1,403,085
前払費用	344,630	0	344,630
流動資産合計	1,818,715	71,000	1,747,715
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
土地	176,019,655	0	176,019,655
特定資産合計	176,019,655	0	176,019,655
(3) その他固定資産			
什器備品	0	144,100	△ 144,100
その他固定資産合計	0	144,100	△ 144,100
固定資産合計	176,019,655	144,100	175,875,555
資産合計	177,838,370	215,100	177,623,270
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	497,862	0	497,862
未払法人税等	0	71,000	△ 71,000
短期借入金	1,320,853	0	1,320,853
流動負債合計	1,818,715	71,000	1,747,715
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,818,715	71,000	1,747,715
III 正味財産の部			
1. 基金			
2. 指定正味財産			
受贈土地	176,019,655	0	176,019,655
指定正味財産合計	176,019,655	0	176,019,655
(うち特定資産への充当額)	(176,019,655)	(0)	(176,019,655)
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	0	144,100	△ 144,100
一般正味財産合計	0	144,100	△ 144,100
正味財産合計	176,019,655	144,100	175,875,555
負債及び正味財産合計	177,838,370	215,100	177,623,270

正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日 から令和 5年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	0	9	△ 9
受取寄付金			
受取寄付金	9,538,892	4,708,666	4,830,226
雑収益			
受取利息	8	0	8
雑収益	17,800	0	17,800
雑収益計	17,808	0	17,808
経常収益計	9,556,700	4,708,675	4,848,025
(2) 経常費用			
事業費			
臨時雇賃金	1,029,552	0	1,029,552
福利厚生費	25,048	0	25,048
旅費交通費	144,450	0	144,450
通信運搬費	109,666	43,055	66,611
減価償却費	144,100	0	144,100
消耗什器備品費	15,798	0	15,798
消耗品費	165,482	46,623	118,859
印刷製本費	8,150	8,150	0
燃料費	8,465	5,481	2,984
光熱水料費	44,481	27,417	17,064
賃借料	561,889	190,000	371,889
保険料	18,910	0	18,910
諸謝金	60,000	60,000	0
租税公課	4,845	3,800	1,045
支払負担金	554,971	388,740	166,231
支払助成金	5,156,000	2,960,000	2,196,000
委託費	29,700	248,600	△ 218,900
雑費	1,267,654	320,725	946,929
事業費計	9,349,161	4,302,591	5,046,570
管理費			
役員報酬	190,000	140,000	50,000
消耗什器備品費	832	0	832
消耗品費	8,709	2,454	6,255
光熱水料費	2,342	1,443	899
賃借料	29,573	10,000	19,573
租税公課	255	200	55
支払負担金	29,209	20,460	8,749
雑費	90,719	16,427	74,292
管理費計	351,639	190,984	160,655
経常費用計	9,700,800	4,493,575	5,207,225
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 144,100	215,100	△ 359,200
当期経常増減額	△ 144,100	215,100	△ 359,200
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 144,100	215,100	△ 359,200
法人税、住民税及び事業税	0	71,000	△ 71,000
当期一般正味財産増減額	△ 144,100	144,100	△ 288,200
一般正味財産期首残高	144,100	0	144,100
一般正味財産期末残高	0	144,100	△ 144,100
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金			
受取寄付金	9,538,892	4,446,682	5,092,210
固定資産受贈益			
土地受贈益	176,019,655	0	176,019,655
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 9,538,892	△ 4,446,682	△ 5,092,210
当期指定正味財産増減額	176,019,655	0	176,019,655
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	176,019,655	0	176,019,655
III 基金増減の部			
基金受入額	0	0	0
基金返還額	0	0	0
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	176,019,655	144,100	175,875,555